

# 大阪府の子どもの数

大阪府総務部統計課

「こどもの日」にちなんで、大阪府の子どもの数に関する統計をまとめてみました。  
(ここでは15歳未満を「子ども」としています。)

## 1. 子どもの数

令和3年3月1日現在で1,038,989人で、前年同月と比べ13,543人(1.3%)減少しました。男の子が529,651人、女の子が509,338人と、総人口\*とは違い、男の子の方が多くなっています。

総人口に占める割合は11.8%で、前年同月と比べ0.1ポイント低下しました。

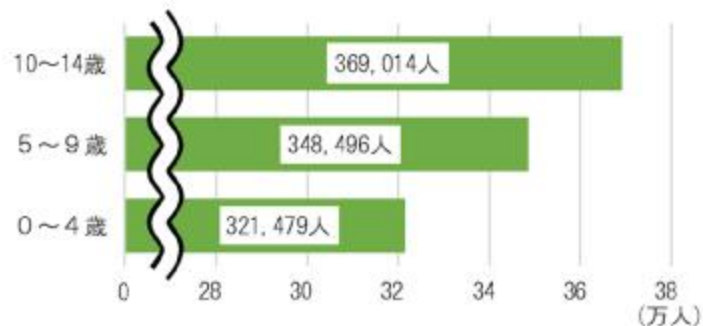
\*令和3年3月1日現在で、男性4,225,263人、女性4,581,108人です。

図表1 男女別子どもの数

	令和3年 3月1日現在	令和2年 3月1日現在	増減
子どもの人口 (A)	1,038,989人	1,052,532人	▲ 13,543人
うち 男子	529,651人	536,912人	▲ 7,261人
うち 女子	509,338人	515,620人	▲ 6,282人
総人口 (B)	8,806,371人	8,820,577人	▲ 14,206人
子どもの割合 A/B	11.8%	11.9%	▲ 0.1ポイント

図表2 年齢階級別子どもの数

5歳階級別で見ると、0～4歳が321,479人、5～9歳が348,496人、10～14歳が369,014人と、年齢階級が若いほど少なくなっています。



### 【クイズ】

人口が最も多い年齢階級は、次のうちどれでしょう？(令和3年3月1日現在)

- A. 45～49歳    B. 55～59歳    C. 70～74歳

※正解は4ページ

## 2. 子どもの数、割合の推移

5年間隔で見ると、団塊ジュニア(昭和46~49生まれ)が出生した後の昭和50年が最も多く2,120,922人で、令和2年の2倍超です。戦後増加し続けてきたのが、これをピークに減少し続けています。

総人口に占める割合が最も高かったのは昭和25年の32.2%で、令和2年の2.7倍です。数とは違い、昭和45・50年を除いて一貫して減少傾向にあります。

図表3 子どもの数、割合の推移



(注1)各年10月1日現在

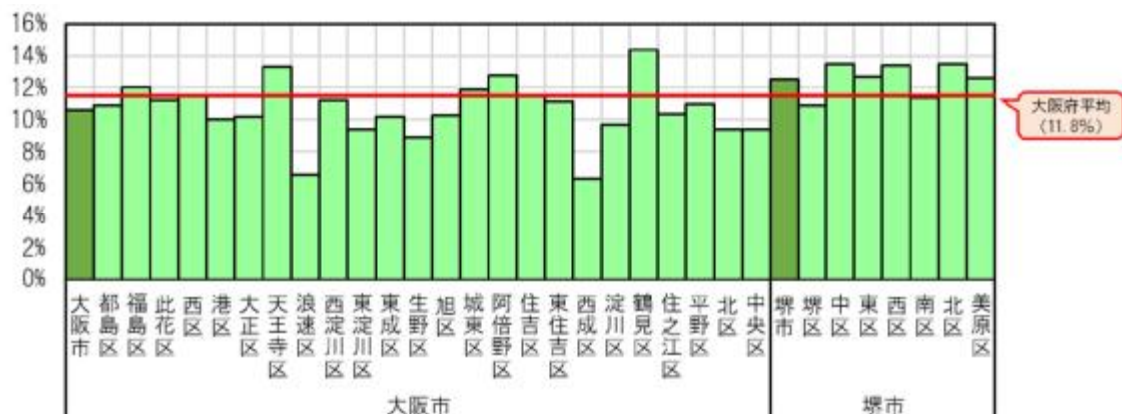
(注2)昭和20年は数え年1~16歳を「子ども」としました。

## 3. 市区町村別子どもの割合

大阪市が10.6%と大阪府平均以下、堺市が12.5%と大阪府平均以上です。

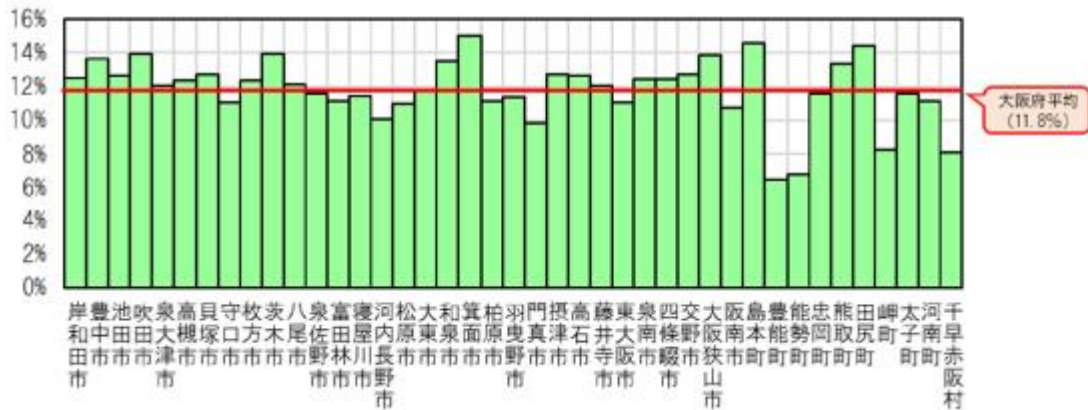
区別では、大阪市では、鶴見区、天王寺区等5区以外が大阪府平均以下で、西成区(6.3%)及び浪速区(6.6%)が特に低くなっています。堺市では、堺区(10.9%)及び南区(11.4%)を除く5区が大阪府平均以上となっています。

図表4-1 区別子どもの割合(大阪市、堺市 令和3年3月1日現在)



2市以外の41市町村では、22市町が大阪府平均以上です。特に、箕面市(15.0%)及び島本町(14.6%)が高く、能勢町(6.8%)及び豊能町(6.5%)が低くなっています。

図表4-2 市町村別子どもの割合(大阪市、堺市以外 令和3年3月1日現在)



#### 4. 他府県との比較

令和元年10月1日現在で、子どもの数は全国第3位です(総人口の順位とほとんど同じで、上位10位では、総人口の第8位北海道と第9位福岡県が入れ替わるのみ)。

総人口に占める割合は、全国平均を0.3ポイント下回り、第29位となっています。関西では滋賀県、兵庫県(12.3%、第15位)が全国平均以上となっています。

図表5 都道府県別子どもの数及び割合(数順)

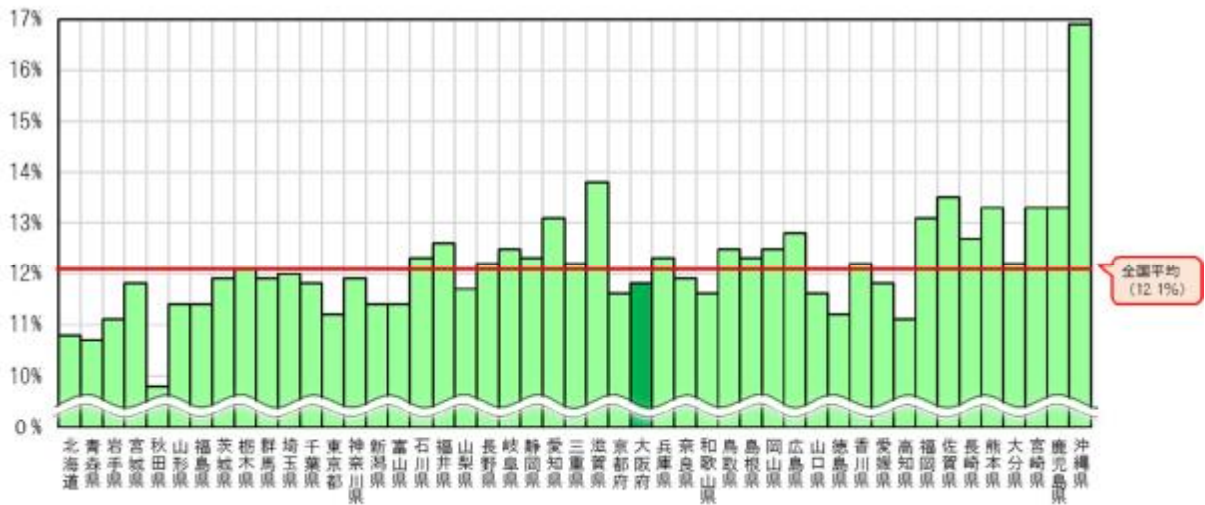
人口順位	都道府県	子どもの数(千人)	増減(千人)	子どもの割合
-	全国	15,210	▲ 205	12.1%
1	東京都	1,553	3	11.2%
2	神奈川県	1,099	▲ 12	11.9%
3	大阪府	1,043	▲ 13	11.8%
4	愛知県	991	▲ 11	13.1%
5	埼玉県	881	▲ 10	12.0%
6	千葉県	739	▲ 9	11.8%
7	兵庫県	674	▲ 9	12.3%
8	福岡県	670	▲ 4	13.1%
9	北海道	565	▲ 12	10.8%
10	静岡県	447	▲ 9	12.3%

図表6 都道府県別子どもの割合(割合順)

割合順位	都道府県	子どもの割合
-	全国	12.1%
1	沖縄県	16.9%
2	滋賀県	13.8%
3	佐賀県	13.5%
	⋮	
29	大阪府	11.8%
29	宮城県	11.8%
29	千葉県	11.8%
29	愛媛県	11.8%
	⋮	
47	秋田県	9.8%

増減 : 令和元年の子どもの数 - 平成30年の子どもの数

図表7 都道府県別子どもの割合



本稿では、大阪府総務部統計課が作成・公表している「大阪府毎月推計人口」<sup>1)</sup>を利用しました(図表3については総務省統計局「国勢調査」も利用)。

全国の子どもの数については、総務省統計局が作成・公表している「人口推計」<sup>2)</sup>を利用しました。

- 1) 直近の国勢調査(現在は平成 27 年実施)による人口を基礎に、各市町村の住民基本台帳上の増減を反映させたもの
- 2) 直近の国勢調査による人口を基礎に、その後の人口の動向を他の人口関連資料から得て、毎月 1 日現在の人口及びより詳細な毎年 10 月 1 日現在の人口を算出したもの

【クイズの答え】

正解は「A. 45～49 歳」です。大阪府の人口の 8.2%を占めています。

「B. 55～59 歳」は 6.3%、「C. 70～74 歳」は 7.2%で、いずれも子どもの占める割合(5 歳階級別)\*を大きく上回っています。

\* 0～4 歳：3.7%、5～9 歳：4.0%、10～14 歳：4.2%

年齢階級別人口は <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/jinkou/index.html> で確認できます。

また、こちら <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/d-osaka/do21n000.html> に大阪府の『人口ピラミッド』を掲載しています。

✉ お問合せはこちら

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2008100019>

大阪府総務部統計課情報企画グループ ☎06-6210-9196